



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報委員会

勝浦RC

千葉 正徳

環境委員会

館山RC

吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

### 8月27日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【産廃問題 高梨竹雄氏】

### 9月3日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【勝浦市の水道事情

勝浦市水道課課長 藤平光男氏】

### 9月の例会プログラム

10日(金) ゲスト卓話

【遠見岬神社 小林悠紀氏】

17日(金) 秋祭りのため休会

24日(金) ガバナー補佐訪問

クラブ協議会

### 会長挨拶 関一憲会長

毎日暑い日が続きますね。地球規模では大変なことが起きているようです。あまり日本では報道されませんが、「荒れ狂う地球」というテーマでお話しさせていただきます。

ロシアでは130年の観測史上最悪の猛暑が続いています。

森林火災が猛威をふるい、12万haが被災。24万人の軍隊、5万台の消防車が出動

して、戦争と変わらない状況だったようです。そして、世界第二位の小麦の収穫量を20%減少させ、モスクワではすでに小麦の価格が30%上昇しているそうです。

パキスタンの洪水では、死者2000名。27000人が孤立、家を失った人は300万人。更に心配なのは衛生状態の悪化によるコレラなどの伝染病です。中国では、世界最大規模の三峡ダム崩壊の脅威がありました。16年の歳月をかけ完成したばかりのダムは、1820万KW発電可能な世界最大の水力発電ダムです。大雨のせいで流れ込んでいる水量を緊急放出しましたが、ダムの水位を下げる事が出来ず、危険水位まで達し、押し流されてきた何千トンものごみにより、水門が詰まる危機となりました。下流域には、長慶、武漢、上海と主要都市が密集しているため、万が一決壊するような事態になれば、国家存亡にも関わってきそうな規模なのです。通常水位が175m、その長さは東京～大阪間ほどあり、実に570kmだそうです。まだまだありますが、いずれにせよ一番は皆さんが毎日元気に、楽しく笑顔で生活できる事です。ロータリアンがみんなの元気のもとでありたいですね。



### 幹事報告 中村満幹事

館山ベイロータリークラブより例会臨時変更のお知らせ

・平成22年9月2日(木) 時間変更・午前9時点鐘

・平成22年9月30日(木) 日時の変更

9月26日(日)午後1:30点鐘



### 委員会報告

#### インターアクト委員会 岩瀬文夫委員長

2010-2011年度インターアクト第2回合同会議

日時：8月24日(14時～17時)

会場：東天紅(千葉市センシティタワー23階)

14:00に、ガバナーエレクト山田修平氏の挨拶で開幕。14:40～合同会議がスタート。

議題：第44回インターアクト年次大会、第23回インターアクト国外研修について、

新世代国際親善の集い、第44回インターアクト指導者講習会について

【第23回インターアクト国外研修】 実施日時：9月10日より三泊四日の予定

参加者：県立若潮高等学校インターアクト生徒 浜口優芽さん

水島インターアクト顧問教師、岩瀬インターアクト委員長



委員会報告

地区クラブ奉仕委員会セミナー

クラブ奉仕( ) 関正己担当理事

8月21日ホテルポートプラザちばにて

270余名の参加者、そのうち勝浦RC

から牧野利美、渡辺昌俊、関正己の3名が参加。



第一部 会員増強

織田ガバナーの提言:「超我の奉仕」と「理論と実践」の二つがきちんと行われているクラブは会員が減らない

会員増強セミナーのテーマ:(石井七郎会員増強委員長)

「いかにして多くの会員を入会させるか?いかにして会員の退会を防ぐか」

この15年間で会員数は1,570名の減少(4,350名→2,778名)世界の1クラブ平均会員数は39名、2790地区の6月末の会員数は2778名、クラブ数84クラブ、平均会員数33名。増強の得策について、分区ごとに発表。我がクラブでは渡辺増強委員長より、会員全員が候補者を共有し複数の会員でアタックする事を発表。会員増強に力をそそぐ事は大変重要だが、まずクラブ内をきちんと固める事が先決。幸いにも勝浦RCは若い会員、女性会員がたくさん入会されて活性化が図られています。新会員のオリエンテーションが必要。そこで若い会員の考え方、意見も良く聞き、勝浦ロータリークラブの魅力を再構築していくことが必要かと思えます。

IT委員会については2790地区のホームページとは別に独自のホームページを開設していないクラブは開設してはどうかという事でした。また、セキュリティの問題が採り上げられ、地区では一切責任はとれないということですから、我がクラブも載せてよい事、良くない事これらをしっかり選別して、自責の負えるホームページを作らねばと思えます。

また、地区においては、各クラブの会報をやがてメールにて発信してほしい。それらをソートして月信(年4回)に載せたい等と言っています。ただ、慎重に進めなければとの感想を得ました。

出席報告 8月27日(金)出席委員会(関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
44名	35名	7名	9名	79.55%

欠席者: 浅野玄航 内田秀実 鈴木亨 田中 智  
林 重利 古川範男 本吉幸子 吉野裕子  
渡辺 保

ゲスト卓話 『産廃問題』高梨竹雄氏

高梨氏より産廃問題について卓話を

いただき、スライドと具体的な数値

データを目にして、自分達の身近な問題

として真剣に向かい合って考えていかな

くتهいけないと痛感しました。



勝浦市鶴原地区に持ち上がっている産業廃棄物最終処理場建設問題。この地区の海岸線はリアス式海岸で磯根が続き、海水浴場、海中公園、海の博物館など水産資源の宝庫となっています。水産業、観光業に多大な影響が出ることは免れず、そうなれば、勝浦市全体として大きな問題になります。

近隣地区で起こったいくつかの事例から見ると...

昭和40(1965)年頃から始まった山砂採取は、各地の山々を

削り、その沿道には凄まじい

ダンプ公害を引き起こしまし

たが、平成2(1990)年頃から

山砂の輸送とは逆の経路で首

都圏で発生する建設残土や産

業廃棄物が、船で木更津港や

袖ヶ浦港へ運ばれてきました。

平成3(1991)~12(2000)年に

建設残土の山で、地元では「平成新山」と呼ばれています。

これは間口が600m、奥行き500m、高さ50mという巨大な

もので、容積は約200万立方メートルと推定されます。右上

の塔は「千葉県水道局・福増浄水場」のビルです。

木更津市の民家の屋敷内に積

み上げられた産業廃棄物です。

見学者(写真右側)や電柱から

見て、高さは約22メートルで、

5万立方メートルはあると言わ

れます。この現場は、「上総アカデミアパーク」の近くです。

このような投棄物はいずれも地下水に直結しているのて、次

世代における環境影響や健康影響が懸念されます。

廃棄物の排出抑制と処理の適正化により、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とした『廃棄物処理法』

という法律があり、事業者の債務、市町村の債務、都道府県

の債務、それぞれが十分にその債務を果たせるように、国が

広域的な見地から調整を行うように努めている、とは言うも

の、まだまだ問題が山積みだということを知り、もっと危

機感を持たなくてはいけないことを考えさせられました。



平成新山と福増浄水場

